

「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年7月12日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
展覧会

国際グループ展

「art and collective intelligence (アート・アンド・コレクティブ・インテリジェンス)」

2013年7月6日(土) — 9月29日(日) 10:00 - 19:00 火曜休館 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、2階ギャラリーほか、道場門前大駐車場屋上特設スペース

アートが拡張する集合知の可能性

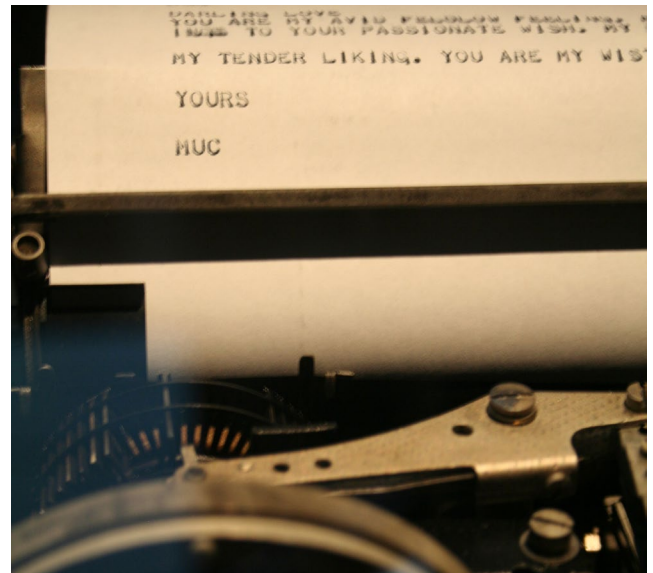
4作品がYCAM発の新作となる国際グループ展

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、ヨーロッパ、東アジア、中東の6組のアーティストによるグループ展「art and collective intelligence (アート・アンド・コレクティブ・インテリジェンス)」を開催します。

情報技術の進展により、多くの人々がネットワーク上でコミュニケーション活動、経済活動を活発におこなうようになり、その過程で蓄積された膨大な記録を共有できるようになった今日の社会。

本展は、こうした環境の変化の中から台頭する「集合知 (collective intelligence)」を題材に、観客の振り舞いなどをもとに作品そのものが更新されていくような、アーティスト個人のビジョンだけでは完結しない作品のあり方を提示します。

「集合知」の枠組みを芸術表現の領域から拡張していく作品を紹介する本展は、YCAMが開館以来探求を続けてきた芸術表現のこれから、そして私たちの社会に多大なインパクトをもたらす可能性を秘めた集合知的アプローチのこれからを見通す展覧会となります。この機会にぜひご鑑賞ください。



ダフィット・リンク「Print out of love-letter, Love Letters_1.0」(2009年)

■ 出展作家

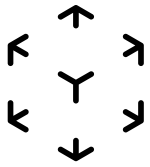
- ・タレク・アトウィ (レバノン/フランス)
- ・コンタクト・ゴンゾ (日本)
- ・ハックデザイン+リサーチ (イギリス)
- ・平川紀道 (日本)
- ・ダフィット・リンク (ドイツ)
- ・ムン・キョンウォン (韓国)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



国内外のアーティスト6組が見せる、作品と鑑賞の新たな局面



平川紀道「the irreversible」(2010年)

本展では、ヨーロッパ、東アジア、中東の6組のアーティストが、4つの新作を制作、2つの作品をアップデートして公開します。

ミュージシャンの身体や内面性を繋ぐ、演奏行為そのものに焦点をあてたサウンドインスタレーションの制作を行うタレク・アトウィ(レバノン/フランス)。身体や物との接触から生まれる予測不能な動きを取り込みパフォーマンスや展示を展開するコンタクト・ゴンゾ(日本)。建築家でありながら、デバイスやAPIの開発プロジェクトなど、空間・データ・人を横断的に繋ぐ活動を展開するハックデザイン+リサーチ(イギリス)。平行した複数の物理世界をコンピューターの描画により表現する平川紀道(日本)。最古の汎用コンピューターの1つであるフェランティ・マーク1を始めとして、黎明期に制作された電子計算機や、計算機上で動くプログラムを復元し、公開をおこなうダフィット・リンク(ドイツ)。「なぜ人々は『公園』を必要とするのか」という問いを出発点に、2070年の世界を、都市と公園のリサーチを元に映像を制作するムン・キョンウォン(韓国)。

いずれの作品も、「集合知」がこれまで適用されてきた事例を参照しながら、表現そのものと鑑賞者などの動きや振る舞いの集合が、どのような関係を結ぶことができるか、検証するものとなります。

また、本展は作品展示に合わせて、「集合知」の過去から現在への系譜をたどる「collective intelligence リサーチプロジェクト」、「集合知」的实践として、現在進行形で、多くのプログラマーに開発されているオープンソースツールキット「openFrameworks」の開発イベント「openFrameworks デベロッパーカンファレンス」、など複数の関連企画によって構成されます。

■ タレク・アトウィ

1980年レバノン生まれ。1998年にフランス移住し、ランス国立音楽学校で現代音楽、電子音楽を学ぶ。独自の身体性とエンジニアリングの複合体をサウンド・パフォーマンスとして発表している。

■ コンタクト・ゴンゾ

contact Gonzoとは殴り合ったり山の斜面を落ちたりする過程で一時的に言葉を忘れることを美德とする集団/方法論の名称。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、金井悠、松見拓也、小林正和の5人。

■ ハックデザイン+リサーチ

インタラクティブなアーキテクチャーシステムの構築、研究を専門に活動。環境対応型のインタラクティブ・インスタレーション、多数の参加者が集合体となって主導するプロジェクトなどを発表している。

■ 平川紀道

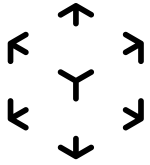
1982年生まれ。コンピュータ・プログラミングによるリアルタイム処理を用いた映像音響インスタレーションを中心とした作品群を国内外の美術展、メディア・アート・フェスティバルで発表している。

■ ダフィット・リンク

1971年、ドイツ生まれ。2004年に、コンピューターによるテキスト自動生成の歴史の研究で、博士号を取得。世界各地で、インスタレーションやパフォーマンスを発表している。

■ ムン・キョンウォン

韓国生まれ。梨花女子大学卒業後、カリフォルニア芸術大学にて修士号取得。文学的なアプローチの映像やインスタレーションなどを発表している。



「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年7月12日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
展覧会

開催概要

国際グループ展「art and collective intelligence (アート・アンド・コレクティブ・インテリジェンス)」

2013年7月6日(土)―9月29日(日) 10:00―19:00 火曜休館

参加作家：タレク・アトウィ、コンタクト・ゴンゾ、ハックデザイン+リサーチ、
平川紀道、ダフィット・リンク、ムン・キョンウォン

入場無料

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、2階ギャラリーほか、
道場門前大駐車場屋上特設スペース (山口市黄金町1-80)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会、大阪ドイツ文化センター
平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造 発信イニシアチブ
助成：公益財団法人セゾン文化財団、公益財団法人ボーラ美術振興財団
協力：NECディスプレイレイソリューションズ株式会社、anno lab
技術協力：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

アーティストトーク

7月7日(日) 13:00 会場：YCAMスタジオA

「collective intelligence リサーチプロジェクト」

7月6日(土)―9月29日(日) 10:00-19:00 会場：YCAM1階ギャラリー

リサーチ：江渡浩一郎

研究者・メディアアーティストである江渡浩一郎が、歴史的な視点から「集合知」を捉え直し、実例をパネル展示の形式で紹介します。

「EAVP2013：エコ・アート・ビレッジ・プロジェクト2013―断片としてのエコ・アート・ビレッジの提案―」

7月6日(土)―9月29日(日) 平日14:00-18:00 土・日・祝13:00-18:00

出展作家：中野良寿、ノーヴァヤ・リューストラほか

会場：八坂神社御旅所横 (山口県山口市駅通り1-7-7)

美術家・中野良寿がかつて滞在していた、有機農業・酪農、アートセラピーなどを特徴とするエコビレッジ・コミュニティを、山口に創り出すことを目的とした展示を開催します。

「openFrameworks デベロッパーカンファレンス2013」

8月7日(水)―14日(水) 会場：YCAM館内

※要申込 (申込方法は10周年記念祭のウェブサイトをご確認ください)

「集合知」の実践例として、世界中のプログラマー／アーティストが開発に関わるクリエイティブ・コーディングのための開発環境「openFrameworks」の開発者向けカンファレンスを開催します。会期中の10日(土)と11日(日)には一般向けにプレゼンテーションとワークショップも開催します。

ギャラリーツアー

8月3日(土)、17日(土)／9月毎週土曜日 各回14:30から 会場：ホワイエ